

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

| | |
|------|---|
| 製品名 | 電解液 S-205 |
| 会社名 | 株式会社 中央製作所 |
| 住所 | 名古屋市瑞穂区内浜町24番1号 |
| 担当部署 | 研究開発部 |
| 電話番号 | 052-821-6196 F A X 052-823-2796 |
| 整理番号 | S - 2 0 5 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

| | |
|----------|-------|
| 火薬類 | : 区分外 |
| 引火性液体 | : 区分外 |
| 自然発火性液体 | : 区分外 |
| 自己発熱性化学品 | : 区分外 |
| 酸化性液体 | : 区分外 |
| 金属腐食性物質 | : 区分外 |

健康に対する有害性

| | |
|-------------------|---------------------|
| 急性毒性（経口） | : 区分 5 |
| 急性毒性（吸入：粉塵, ミスト） | : 区分外 |
| 皮膚腐食性・刺激性 | : 区分 2 |
| 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 | : 区分 2 A |
| 特定標的臓器/全身毒性（単回暴露） | : 区分 2, 区分 3（気道刺激性） |

環境に対する有害性

| | |
|----------|-------|
| 水生毒性（急性） | : 区分外 |
| 水生毒性（慢性） | : 区分外 |

絵表示またはシンボル



| | |
|---------|--|
| 注意喚起語 | : 警告 |
| 危険有害性情報 | : 飲み込むと有害のおそれ 皮膚刺激 強い眼刺激 血液の障害のおそれ 呼吸器への刺激のおそれ |

注意書き

| | |
|------|---|
| 安全対策 | : 熱源から遠ざける。 可燃物から遠ざける。 粉じん, ミスト, 蒸気などを吸入しない。 換気の良い場所でのみ使用する。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしない。 |
|------|---|

- 適切な保護手袋，保護眼鏡，保護衣，保護面，保護マスクなどを着用する。
- 使用後は保護具をよく洗う。
- 取扱い後はよく手を洗う。
- 救急処置 : 吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐ。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。
- 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類および付着物を取り除く。
- 皮膚を流水で洗う。気分が悪いときは，医師の処置を受ける。
- 取り扱った後，手を洗う。
- 暴露した場合：医師の処置を受ける。
- 保管 : 可燃物から離して保管する。
- 容器は密閉して換気の良い場所で保管する。
- 施錠して保管すること。
- 廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成，成分情報

| | | | | | |
|-------------|--------------------------|----------------|----------------------|-----|--|
| 単一製品・混合物の区別 | 混合物 | | | | |
| 化学名（又は一般名） | 硝酸アンモニウム | 硝酸カリウム水溶液 | | | |
| 成分及び含有量 | 硝酸アンモニウム 32% | 硝酸カリウム 9% | 水 | 59% | |
| 化学特性（化学式） | NH_4NO_3 | KNO_3 | H_2O | | |
| 官報公示整理番号 | 1-395（化審法） | 1-449（化審法） | | | |
| CAS No. | 6484-52-2 | 7757-79-1 | | | |

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに患者を毛布にくるんで安静にさせ，新鮮な空気のある場所に移す。鼻をかませ，うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部または接触部を多量の水で十分に洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに多量の水で 15 分間以上洗い流し，異常を訴える場合，眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 毛布等で保温して安静にさせる。多量の水または食塩水を飲ませて吐かせる。患者に意識がない場合には，口から何も与えてはならないし，吐かせようとしてもいけない。速やかに医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置：大量注水，炭酸ガス，粉末消火器，アルコール

- 使ってはならない消火剤：なし
- 火災時の特定危険有害性：一酸化窒素，二酸化窒素，アンモニアガスが発生する。
- 特定の消火方法 : 硝酸アンモニウム，硝酸カリウム自体は不燃性であるが，周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。
- 移動不可能の場合は，容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護（保護具等）：一酸化窒素，二酸化窒素，アンモニアガスに対する防毒マスク。

6. 漏出時の措置：

- 人体に対する注意事項 : 必要に応じて保護具を着用する。

- 環境に対する注意事項 : 河川, 湖沼に直接流入させない。
 除去方法 : 漏洩物をできる限り容器に回収し, 漏洩した場所は大量の水で洗い流す。
 二次災害の防止策 : この物質と可燃物との接触を防止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 皮膚等に付着させないように注意する。
 有機物, いおう, りん等可燃性物質と混合しないようにする。
 保管 : 可燃物と隔離して貯蔵する。密栓して冷暗所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに洗眼, 手洗設備, 安全シャワーを設置し, その位置を明瞭に表示する。

許容濃度

日本産業衛生学会 : 設定されていない。

ACGIH : 設定されていない。

管理濃度 : 設定されていない。

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 必要なし
 手の保護具 : 保護手袋
 眼の保護具 : 保護めがね
 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 液体
 色 : 無色
 臭い : 無臭
 pH : 6.6

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : 100℃
 引火点 : なし 発火点 : なし

爆発特性

爆発限界 : 爆発しない。

密度 : 1.20

溶解性 : 水に対する溶解度 : 硝酸アンモニウム結晶 54%(20℃)
 硝酸カリウム結晶 24%(20℃)

エタノール, アセトンに可溶である。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の使用において安定である。
 反応性 : 高温面または炎に触れると分解して有毒な窒素酸化物, アンモニアガスを生成する。加熱すると分解し, 酸素を生成して火災の危険性を増大させる。
 避けるべき条件 : 高温
 避けるべき材料 : 酸化され易い材料
 危険有害な分解生成物 : 火災時の一酸化窒素, 二酸化窒素, アンモニアガス

11. 有害性情報

急性毒性 (硝酸アンモニウム) : 多量に経口摂取すると, 硝酸塩の毒性としてめまい, 腹痛, 嘔吐,

下痢等を起こす。

ラット 経口 LD₅₀=2,217 mg/kg

(硝酸カリウム) : 大量 (10~30g) 摂取すると胃腸の炎症, 血性の吐瀉を現し, 脈拍微弱となり, けいれんを伴い, 心臓麻痺を起すことがある。

ウサギ 経口 LD₅₀=3,015 mg/kg

局所効果 (皮膚, 眼など) : 多量の粉塵を吸入すると気道が刺激される。

感受性 : データ無し

慢性毒性・長期毒性 : データ無し

がん原性 : データ無し

変異原性 : データ無し

催奇形性 : データ無し

生殖毒性 : データ無し

12. 環境影響情報

生体蓄積性 : データ無し

生体毒性 : データ無し

魚毒性 (硝酸アンモニウム) : 水生生物に有毒, LD₅₀/96 時間は 1,000-100 mg/L。
魚類に対し, 800 mg/L, 3.9 時間で致死。

(硝酸カリウム) : 魚類に対し, 162 mg/L で致死。

13. 廃棄上の注意 : 大量の水で希釈して処理する。

空容器は水洗いした後, 産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意 : 輸送に際しては直射日光を避け, 容器の漏れのないことを確め, 落下, 転倒, 損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

国際規制 : 無し

国連分類 : 危険有害物に該当しない。

国内規制 : 無し

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第 57 条、施行令第 18 条別表第 9)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9)

硝酸アンモニウム (政令番号 : 308)

船舶安全法 : 非該当 (船舶による危険物の運送基準等を定める告示 備考 10: SP252)

水質汚濁防止法 : 有害物質 (法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条)

海洋汚染防止法 : 施行令別表第 1 有害液体物質 Z 類物質

化学物質排出把握管理 : 非該当

促進法(PRTR 法)

16. その他の情報

引用文献

① 化学物質の危険・有害便覧 労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会 (1992)

② Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed N. I. Sax 他編
Van Nostrand Reinhold Company (1984)

- ③ 危険物ハンドブック ギュンター・ホンメル編
シュプリンガー・フェアラー東京 (1991)
- ④ 12093の化学商品 化学工業日報社(1992)
- ⑤ 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社 (1992)
- ⑥ 新版危険有害便覧 労働省安全衛生部監修 中央労働災害防止協会 (1986)
- ⑦ 第五版食品添加物公定書解説書 石館守三ら監修 廣川書店 (1987)
- ⑧ Merck Index 11th ed. Merck&Co. (1989)

* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。

また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。